

# ザ・タイガース 40年復活

瞳みのる「帰ってまいりました。いまだにキンチョウの夏って感じですよ」

黄金時代のザ・タイガース。(左から)加橋かつみ、岸部修三(現・一徳)、沢田研二、森本太郎、瞳みのる



オリジナルメンバー

◆ザ・タイガース  
1967年2月5日、シングル「僕のマリー」でデビュー

1. モナリザの微笑「君だけ」(GS)ブームに火を付けた。に愛を など数多くのヒット曲を放ち、グループサウンド

68年12月に日本初のスタジオライブを甲子園球場で実現させたが、個々の活動が目立つようになり71年の日本武道館コンサートで最後に解散。その後81年11月に同窓会と銘打って再結成。89年にはNHK紅白歌合戦に出場した。

岸部一徳(サリー)

### 今後のツアー日程

日程	会場
9月10日	京都会館第1ホール
11日	石川県・本多の森ホール
21日	大阪国際会議場グランキューブ
23日	富山オーバードホール
25日	岐阜県・長良川国際会議場メインホール
30日	アクトシティ浜松
10月2日	東京国際フォーラムホールA
6日	広島アステールプラザ大ホール
7日	兵庫県・赤とんぼ文化ホール
9日	貝塚市民文化会館コスモシアター
10日	神戸国際会館こくさいホール
19日	静岡県市民文化会館
29日	山梨県・コラーネ文化ホール
30日	大宮ソニックシティ
11月3日	ニトリ文化ホールさっぽろ芸術文化の館
5日	仙台市民会館
12日	宇都宮市文化会館
13日	松戸森のホール21
18日	岡山市民会館
19日	京都会館第1ホール
23日	大分iichikoグランシアタ
24日	熊本市・崇城大学市民ホール
12月1日	松山市民会館大ホール
2日	サンポートホール高松・大ホール
4日	高知県立県民文化ホール・オレンジ
10日	群馬県民会館ベイス文化ホール
11日	長野県・ホクト文化ホール
17日	新潟県民会館
23日	パシフィコ横浜・国立大ホール
1月7日	福岡市民会館
8日	鹿児島県・宝山ホール

### ツアー一曲目(※はカバー)

- 1 Mr. Moonlight ※
- 2 Do You Love Me? ※
- 3 Time Is On My Side ※
- 4 僕のマリー 67年
- 5 モナリザの微笑 67年
- 6 銀河のロマンス 68年
- 7 坊や祈っておくれ ※
- 8 Because (Vocal 森本太郎) ※
- 9 SATISFACTION ※
- 10 Justine (Vocal 瞳みのる) ※
- 11 淋しい雨 69年
- 12 風は知らない 69年
- 13 散りゆく青春 70年
- 14 花の首飾り 68年
- 15 割れた地球 68年
- 16 怒りの鐘を鳴らせ 70年
- 17 美しい愛の掬 69年
- 18 青い鳥 68年
- 19 シーサイド・ハウンド 67年
- 20 君だけに愛を 68年
- 21 誓いの明日 70年
- アンコール
- 22 シー・シー・シー 68年
- 23 落ち葉の物語 68年
- 24 ラヴ・ラヴ・ラヴ 69年

沢田研二(ジュリー)

瞳みのる(ピー)

森本太郎(タロー)

往年のファンには涙もののステージが実現。60年代をよみがえらせたザ・タイガースのオリジナルメンバーの(左から)岸部一徳、沢田研二、瞳みのる、森本太郎=東京・丸の内での東京国際フォーラムで(河口貞史撮影)

### 60年代の熱気再現

往年のファンからの大反響に、再びかつてのメンバーとの交流が始まり、今回の同窓会ライブにつながった。8月からリハーサルを繰り返し、ツアー一曲目(※はカバー)は2008年に沢田が自身のアルバム「ロッキング・ロー・マーチ」に、瞳に捧げた「ロッキング・ロー」を収録したのがきっかけになった。同曲は71年の解散後、芸能界を去り、高校教師に転身した瞳に向け、また一緒に音楽をやろうよとのメッセージを込めて沢田が作った作品だった。その年、同曲を沢田がテレビの音楽番組で歌ったことを瞳が人づてに聞き、再びかつてのメンバーとの交流が始まり、今回の同窓会ライブにつながった。8月からリハーサルを繰り返し、

60年代に活躍した伝説のグループサウンド、「ザ・タイガース」が40年ぶりに復活した。8日、東京・丸の内での東京国際フォーラムでスタートした沢田研二(63)の全国ツアーの初日公演に、タイガースのメンバーだったドラムのピーこと瞳みのる(64)、サイドギターの森本太郎(63)、ベースの岸部一徳(64)がゲスト出演。リードギターだった加橋かつみ(63)の参加はなかったものの、1971年1月24日の解散以来、4人のオリジナルメンバーがそろい、「君だけに愛を」などの懐かしいのヒットナンバーを熱演。満員5000人のファンを熱狂させた。今回の「再結成」は2008年に沢田が自身のアルバム「ロッキング・ロー・マーチ」に、瞳に捧げた「ロッキング・ロー」を収録したのがきっかけになった。同曲は71年の解散後、芸能界を去り、高校教師に転身した瞳に向け、また一緒に音楽をやろうよとのメッセージを込めて沢田が作った作品だった。その年、同曲を沢田がテレビの音楽番組で歌ったことを瞳が人づてに聞き、再びかつてのメンバーとの交流が始まり、今回の同窓会ライブにつながった。8月からリハーサルを繰り返し、

声援の中、ステージに登場した沢田は「ついにこの日がやってきました。とってもうれしく思います。4人が集まると興奮してしまいます」と感激の思いを口にした。デビュー曲「僕のマリー」(67年)などタイガースのオリジナル曲を中心に、当時カバっていたローリング・ストーンズの「サティスファクション」なども披露。60年代の熱気を再現する歌と演奏でファンを大喜びさせた。芸能界を離れてからは慶応高校で中国語の教師として勤務し、40年ぶりのステージに帰ってきた瞳は「帰ってまいりました。いまだにキンチョウの夏って感じですよ」と興奮して話した。パワフルなドラム演奏や洋楽ナンバーの「Justine」ではリードボーカルにも挑戦して盛り上げた。今回の沢田のツアーは全国33都市で全38公演を予定。瞳や森本、岸部の3人はすべての公演に参加し、来年1月24日に解散コンサートを果たす思いの日本武道館でファイナルを迎える。